

県教育委員に
仲村、比嘉氏

2月県議会提案へ

県は、県議会二月定例会に新教育委員としてエコツーリズムを通じた地域活性化事業に取り組む「有限会社・開」(那覇市)代表取締役の比嘉梨香氏(四七)と県教育次長の仲村守和氏(五七)を任命する人事案を提案すること



比嘉梨香氏



仲村守和氏

三日、県議会与野党に説明した。(一部地域既報) 比嘉氏は板井ルミ子氏の後任で任期は四年。仲村氏は仲宗根用英県教育長の後任で任期は二年となる見込みで、県議会後の県教育委員会会議で県教育長に就任する見通し。 比嘉氏は那覇高校、琉球大学法文学部社会学科を卒業後、那覇青年会議所国際交流室長、県文化振興会理事、県観光コンベンションビューロー評議員などを経て二〇〇〇年二月から開代表取締役。県国土利用計画審議会審議員やNPO法人日本エコツーリズム協合理事、FMなは番組審議員なども務めている。

比嘉氏に辞令

県教育委員に就任

板井ルミ子前県教育委員の任期満了に伴い五日付で県教育委員に就任し



比嘉梨香氏

た比嘉梨香氏(四七)への辞令交付式が五日午後、県庁であり、仲井真弘多知事から辞令が手渡された。

比嘉氏は一九五九年生まれ、那覇市出身。琉球大学卒。NPO法人日本エコツーリズム協会の設立メンバーで現在は同協会理事。開代表取締役を務める。比嘉氏は「地域振興を通じて人材を育

成していきたい」と抱負を述べた。

新県教育委員
比嘉氏に辞令



比嘉梨香氏

県教育委員会(中山勲委員長)の新しい委員に選ばれた有限会社「開」代表取締役の比嘉梨香氏(四七)に五日、仲井真弘多

知事から辞令が手渡された。

比嘉氏は「これまで子どもたちの交流イベントなどに取り組んできた。人生や子育てを通して学んだ経験を、人材育成や教育に生かしたい」と抱負を語った。

仲井真知事は「教育分野にはいろんな課題がある。のでよろしくお願いたい」と激励した。

比嘉氏は、前委員長の板井ルミ子氏(六)の後任。任期は同日から二〇一一年四月四日までの四年間。NPO法人日本エコツーリズム協合理事などを務める。琉大卒。石垣市出身。

ティールタイム

◆マカオの魅力PR

マカオ政府観光局で日
本地区マーケティングを
担当する府川尚弘さん
写真中央と松本二実さ
ん(同左)が12日に来
県、同観光局と関係の深
い開代表の開梨香さん(同
右)の案内で沖縄タイ
ム本社を訪問した。
中国の特別行政区とな
っているマカオへの日本



からの観光客は年間約20
万人にすぎず、より広範
な誘客を目指し、沖縄で

も集中的なキャンペーン
を実施する計画。特に、
コンサートなどのイベン
ト、メディアの活用、旅
行業界を通じた魅力的な
商品発売といった総合的
な展開を考えている。
そのためにも「沖縄の
市場特性を見極めたい」
といい、「カジンだけで
ない、世界遺産を中心と
したマカオの魅力」をア
ピールした。

経済フレッシユ

歴史と文化の街
マカオをPR
政府観光局の府川氏



真。マカオの歴史市街地
区が2005年に世界遺
産に登録され「大航海時
代のポルトガルの面影を
味わってほしい」と呼び
掛ける。
06年は日本からマカオ
に前年比30%増の22万人
が訪問。主に関東地方か
らの観光客だが、マカオ

○「ギャンブルだけ
ではない、歴史と文化の
街を楽しんでもらいたい」
と語るのはマカオ政府観
光局の府川尚弘さん(写
カオの魅力を訴える。